

## 令和5年度第2回狛江市社会教育委員の会議(要旨)

- 1 日 時 令和5年7月 26 日(水)午後7時から午後8時 50 分まで
- 2 場 所 狛江市役所防災センター401会議室
- 3 出席委員 塚越委員長、中川副委員長、伊藤委員、小田嶋委員、楠本委員、佐藤委員、  
福田委員、万木委員  
欠席委員 梶川委員、鷺見委員  
事務局 上田理事、鎌谷課長、須藤係長
- 4 議 題
  - (1) 委員の報告
  - (2) 都市社連協理事会について
  - (3) 部活動の地域連携の進捗状況等について
  - (4) 狛江市民センター改修及び図書館整備について
  - (5) その他
- 5 配布資料
  - 資料 1 令和5年度都市社連協理事会理事会資料
  - 資料 2 部活動の地域連携に関する資料
  - 資料 3 「狛江市民センター改修基本設計」「狛江市新図書館整備基本設計」市民説明会資料
- 6 会議の結果
  - 議題(1)委員の報告  
委員:放課後子ども教室事業運営委員会について、コロナ前に戻り、夏休み期間に向けて企画を進めていること、また空き教室がないことが課題であることについて報告された。
  - 議題(2)都市社連協理事会について  
委員長:
    - ・役員・理事・会長市等のローテーションについて報告された。狛江市は令和 12・13 年度が副会長市、14 年度が会長市となるほか、ブロック幹事は、令和9年度となることが予定されている。
    - ・会議の開催方法のアンケート結果について報告された。

- ・ブロック研修会について、各ブロックの状況が報告された。第5ブロックは11月11日、地域と学校の連携というテーマを予定している。三鷹市は学校3部制を採用していること、生涯学習審議会委員と社会教育委員は兼務であることなどが報告された。
- ・次回の都市社連協の交流大会実施要綱について報告された。

#### 議題(3) 部活動の地域連携の進捗状況等について

- ・事務局説明
- ・委員: 教員の負担軽減について、現状の時間数に対する取り組みの成果が数字として予想されているのか。
- ・事務局: 教員の働き方改革について目が行きがちだが、保護者の目線では、多様な部活を持続可能な形で子どもたちにやってほしいという意見もある。土曜日は、教員の負担を減らせるようにし、逆に部活動をやりたい先生は、別途契約をする等、今後検討していく。
- ・委員: 環境設備を整えることは検討しているか。特に文化系の部活はICTを活用した指導等も考えられるが。
- ・事務局: 保護者から、ウィークデーはオンラインで指導し、休みの日は集まって練習することはできないか等の意見があった。
- ・委員長: 野球が合同とあったが、拠点校は休日のみとなる。平日の練習はどうなるのか。
- ・事務局: 合同部活動については、平日は各校自主練習なのか、指導者が来るのか等、今後の検証による。
- ・委員長: 地域連携というが、実際は委託のイメージがある。外部から来るのか。
- ・事務局: 議論は必要だが、地域人材を活用して欲しいという思いはある。
- ・委員: 野球をやっている子は、中学校でも野球部をやることを目標としている。中学生になっていく小学生の意見は何か聞いているのか。
- ・事務局: 実証検証を行う段階で意見は聞いていない。狛江市は指定校制だが、運用上、部活動を理由に指定校以外の中学に行くことも可能になっている。
- ・委員: オール狛江で大会に出るのか。
- ・事務局: 大会の費用負担や、ユニフォームの統一化など、競技によって異なることも多いため、実際にやってみないと分からないことも多く、実証検証の中で検討する。
- ・委員: おんまちのメンバーが外部指導員として部活の指導をするような体制ができるのか。
- ・事務局: 指導者の質等の課題もあるため、十分検討したい。
- ・委員長: また機会があれば、報告いただきたい。

#### 議題(4) 狛江市民センター改修及び図書館整備について

- ・事務局説明
- ・委員長: 市民センターは改修、新図書館は新築ということだが、何か意見は。

- ・委員:耐震は問題ないのか。
- ・事務局:耐震改修はしている。
- ・委員:商工会と駄倉地区センターと一緒に解体することがわかった。
- ・委員長:市民活動支援センターは、どちらかという福祉的な役割。それが公民館と同じ建物に入るとのことだが、公民館とのすみわけはどうするのか。
- ・事務局:すみわけよりも、新たなコミュニケーションや利用が進むようにしたいと考えている。
- ・委員長:静かな会議・学習フロアの所管はどこになるのか
- ・事務局:公民館が管理する。
- ・委員長:これまで、公民館と言えば「社会教育」という立場だが、今後は「学びのフロア」など、どちらかという生涯学習の印象がある。そのように切り替える自治体もある。狛江市でもそういった方向に進んでいくのか。
- ・事務局:生涯学習になることは、現時点では想定していない。どこまで機能を求めるかは意見が分かれるところだが、居場所づくりという考え方は今の市にとっては必要なものと考えている。
- ・委員:基本的な質問で恐縮だが、生涯学習センターがある自治体はどういうことか。
- ・事務局:生涯学習センターという場合は、市長部局が所管しているケースを言う。教育委員会では、社会教育という考え方にはなると思う。
- ・委員長:新しい図書館には勉強のスペースはあるのか。
- ・事務局:学習スペースとしては、市民センターの2階になる。基本的に図書館では、資料を使って調べ物をする印象だと思うが、マストではないものの、スペースは設ける予定。
- ・委員:ダイバーシティやバリアフリーの観点では、すべきことはしているが、力を入れている印象はあまり感じられない。ニーズがないからではなく、呼び込むつもりでアプローチする必要があるのではないか。
- ・委員:改修中の活動はどうするのか。休止しなければいけない印象がある。手話ができる方の案内や、点字ブロックの設置、夜間の利用など、少しでも使いやすいようにして欲しい。
- ・委員:ジャックポットはどうなるのか。
- ・事務局:改修中は需要が見込めないことから、一時休止し、改修中の中央図書館の臨時窓口として活用する予定。

## 議題(5)その他

事務局:次回以降の会議日程について提案。

第3回会議は令和5年9月27日(水)午後7時から特別会議室で開催予定。